

● 公民的分野 学習指導計画作成資料

※公民的分野第3学年の教科書での時数 90 時間・うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 19.3 時間

(第3学年の社会科全体の時数 140 時間・うち学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 25.3 時間)

累計時数	教科書ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
1	2 3	公民との出会い 一夜の地球ー	○夜の地球の衛星写真と現代社会のエネルギーに関する写真から、持続可能な社会や地理・歴史と関わる問いを考えることで、公民の学習に取り組む意欲をもつことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 教科書2～3の以後の公民の学習と深くかかわる写真を見て、持続可能な社会の考え方が私たちの生活と深い関わりをもっていることに気づき、関心と意欲をもった内容をノート等へ書きだす。 写真と持続可能な社会との関係や、地理・歴史に関連付けた問いについて理由付けて考えたことをノート等にまとめる。 【1時間】

第1編 私たちと現代社会

配当11時間

うち第3学年の学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 2.3時間

累計時数	教科書ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
2	2 3	【導入】 現代社会ナビ	<ul style="list-style-type: none"> ○自分たちが生活する現代社会に関心をもつことができる。 ○地理的分野と歴史的分野の学習内容と関連させながら、現代社会の特色について自分の言葉で理由も含めて発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・編扉 (P.1) を見たり、P.2「現代社会はどんな社会だろうか」の活動に取り組んだりして、現代社会の特色について関心を高め、考えたことをノートにまとめる。 ・P.3「現代社会の学習って何をするの？」の文章を読み、現代社会単元の学習の見通しをもつ。 【1時間】

第1節 私たちが生きる現代社会の特色

累計時数	教科書ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
3	4 5	1 少子高齢化の社会と日本の挑戦 ・日本の人口減少と少子高齢化	○人口ピラミッドなどの統計資料をもとに、日本の人口構造の変化と少子高齢化	・P.5「アクティビティ 人口ピラミッドの変化」の問いに取り組み、少子高齢化の現状と課題を統計資料から理解する。

		<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化への取り組み ・少子高齢化への挑戦 	<p>の進展を理解することができる。</p> <p>○少子高齢化が進む現代社会には労働力の減少や、医療や介護制度の充実などの課題があることに気づくことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・P.5「活用」に取り組み、少子高齢化に関わる取り組みを調べ、将来の予測を考えてノートにまとめる。 <p>【0.3時間】</p>
4	6 7	<p>2 進む情報化と変わる私たちの社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信技術の発展 ・情報化によって変わる社会 ・情報化を生かすために 	<p>○情報化が進んだことによる現代社会への影響と課題を理解することができる。</p> <p>○主体的に情報を使う考え方や情報モラルの大切さに気づくことができる。</p>	
5	8 9	<p>3 グローバル化する世界で生きる私たち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本社会のグローバル化 ・貿易と国際分業によってつながる世界 ・多文化共生社会と国際協力 	<p>○グローバル化の進展により日本の社会がどのように変化してきたか、関心をもつことができる。</p> <p>○異なる文化との共生や国際協力の必要性が増大していることに気づくことができる。</p>	
—	10 11	<p>【公民ズームイン】 持続可能な社会 —視点を広げて現代社会をみてみよう—</p>	<p>○世界史的な視点から持続可能な社会の必要性を理解する。</p> <p>○持続可能な社会の実現にむけて興味・関心をもつことができる。</p>	
—	12 13	<p>【情報スキルアップ】 統計とグラフを使いこなそう！</p>	<p>○統計やグラフの基本的な利用の仕方を理解することができる。</p> <p>○統計やグラフを活用し、課題解決の姿勢を身につけることができる。</p>	

第2節 現代社会の文化と私たち

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
6	14 15	<p>1 現代社会における文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化とはなんだろう ・私たちの生活と科学・芸術・宗教 	<p>○文化が現代社会に大きな影響をおよぼしていることに気づき、関心をもつこと</p>	

			<p>ができる。</p> <p>○代表的な文化である科学・芸術・宗教について理解することができる。</p>	
7	16 17	<p>2 日本の伝統文化の特徴と多様性</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統文化 地域文化の多様性 現代の生活に生きる日本の伝統文化 	<p>○日本の伝統と文化はどのようにつくられてきたかを理解することができる。</p> <p>○身近な生活を題材にして、地域の文化と文化の多様性について考えることができる。</p>	<p>・P.16「日本の伝統文化」については授業をP.14～15「1 現代社会における文化」（6時間目）に併せて、またP.17「地域文化の多様性」「現代の生活に生きる日本の伝統文化」については授業をP.18～19「受けつぎ、創造する日本の文化」（8時間目）に併せて行うことも考えられる。</p> <p>【1時間】</p>
8	18 19	<p>3 受けつぎ、創造する日本の文化</p> <ul style="list-style-type: none"> グローバル化と日本文化の創造 文化の多様性への共感と理解 	<p>○グローバル化における文化のありように関心を持ち、文化の多様性を尊重することができる。</p> <p>○世界に受け入れられている日本の文化を通じて、これからの日本文化について考えることができる。</p>	
—	20 21	<p>（コラム：世界の宗教と芸術）</p> <p>【公民ズームイン】</p> <p>四国八十八ヶ所めぐり — 今に生きる日本の文化の例 —</p>	<p>○世界の宗教や文化に関心や意欲をもつことができる。</p> <p>○くらしのなかから文化の継承と創造を見出し、関心をもつことができる。</p>	

第3節 現代社会をとらえる見方や考え方

累計時数	教科書ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
9	22 23	<p>1 社会における私たちときまりの意義</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会的存在としての人間 家族と社会 社会生活ときまり 	<p>○自分と「きまり」との関わりについて関心をもつことができる。</p> <p>○私たちの社会において、きまりが果たしている役割について理解することができる。</p>	
10	24 25	<p>2 「対立」と「合意」～見方や考え方 その1～</p> <ul style="list-style-type: none"> 対立と合意とは 	<p>○社会では様々な対立が生まれた場合、多様な人がともに成り立ち、合意できるよ</p>	

		<ul style="list-style-type: none"> ・合意する方法 	<p>うに努力がなされていることを理解することができる。</p> <p>○問題を解決する際の望ましい決定の仕方について考えることができる。</p>	
11	26 27	<p>3 「効率」と「公正」 ～見方や考え方 その 2～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効率と公正とは ・公正な社会をつくるために 	<p>○合意の妥当性の判断基準として、無駄を省く「効率」や、決定の手続きや内容についての「公正」があることを理解することができる。</p> <p>○社会の様々な問題を「効率と公正」の視点を判断基準として考えることができる。</p>	
12	28 29	<p>4 きまりを守る責任とその 評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きまりを守る責任 ・きまりの評価と変更 	<p>○必要に応じてきまりを見直すことの意義に気づき、きまりを評価する視点について理解することができる。</p> <p>○契約したことをきまりとして守ることの意味や、その結果に伴う責任について理解することができる。</p>	

第2編 私たちの生活と政治

第1章 個人の尊重と日本国憲法

配当16時間				
うち第3学年の学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 1.7時間				

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
13	32 33	【導入】 政治ナビ	○身近な事例の中に、 憲法や政治に関わる 問題点があることに 気づかせ、学習に対 する関心や意欲をも つことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ P.32「くらしのなかから政治を考 えよう」の活動に取り組み、身近 な状況の中に存在する人権問題に ついて考える。 ・ P.33「政治の学習って何をする の？」の文章を読み、政治単元の 学習の見通しをもつ。 【1時間】

第1節 法に基づく政治と日本国憲法

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
14	34 35	1 私たちにとっての政治 と民主主義 ・私たちと政治 ・民主主義とは ・よりよい民主政治のため に	<ul style="list-style-type: none"> ○政治とはどのような 働きをもつものかを 理解することができる。 ○民主主義のしくみと 方法がもつ意味につ いて考えることがで きる。 	
15	36 37	2 法に基づく政治と憲法 ・憲法とは ・個人の尊重と人権の保障 ・法の支配と権力分立	<ul style="list-style-type: none"> ○法に基づく政治の大 切さを、歴史的な流 れをもとに考えるこ とができる。 ○なぜ憲法が必要な のか、憲法の特質は 何なのかを理解する ことができる。 	
16	38 39	3 日本国憲法の制定と三 つの基本原則 ・大日本帝国憲法 ・日本国憲法の制定 ・世界とつながる三つの基 本原則	<ul style="list-style-type: none"> ○日本国憲法がどのよ うな経緯で制定され たのかを理解するこ とができる。 ○日本国憲法の三つの 基本原理は、どのよ うな背景から成り立 ったのかを考えるこ とができる。 	

17	40 41	4 日本国憲法と国民主権 ・国民主権 ・憲法改正 ・国民主権と政治参加 ・象徴としての天皇	○なぜ国民主権の考え方が必要なのかを考 えることができる。 ○国民がどのように主 権を行使するかを理 解することができる。	
ー	42 43	【公民タイムトラベル】 世界の憲法のあゆみ	○立憲主義の発展を、 3か国の事例を通し て理解することがで きる。 ○英米仏の文章資料を 読み、歴史的意義を 考えることができ る。	

第2節 日本国憲法と基本的人権

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
18	44 45	1 人権思想のあゆみと日 本国憲法 ・人権思想の誕生 ・人権思想の発展 ・日本国憲法の人権保障	○基本的人権の意味を 理解することができる。 ○基本的人権獲得の歴 史を理解し、日本国 憲法の人権保障を理 解することができる。	
19	46 47	2 自由に生きる権利 ・自由権とは ・精神の自由 ・生命・身体の自由 ・経済活動の自由	○個人として尊重さ れ、個性や才能をの ばすのに、国家から の不当な干渉や妨害 を受けない自由権が あることを理解する ことができる。 ○自由権が侵害され た場合、どのような 問題が生じるかを考 えることができる。	
20	48 49	3 等しく生きる権利 ・平等権とは ・男女共同参画社会をめざ して ・障がいのある人とともに 生きる社会 ・日本に住んでいる外国人	○基本的人権を基礎づ ける法の下での平等 の意義を理解するこ とができる。 ○男女共同参画社会や 障がいのある人とと もに生きる社会を実 現する施策について 考えることができ る。	

-	50 51	【明日に向かって】 バリアフリーの社会をめざして 一堺市を例にー	○すべての人が暮らしやすい社会がなぜ大切なのかを考えることができる。 ○バリアフリー施設の機能や目的を理解することができる。	
21	52 53	4 差別のない社会へ ・部落差別をなくすために ・アイヌ民族への差別 ・在日韓国・朝鮮人差別	○現在も存在する差別の問題を解決し、ともに生きる社会を実現するための施策について考えることができる。	
22	54 55	5 人間らしい生活を営む権利 ・社会権とは ・生存権 ・教育を受ける権利 ・勤労の権利と労働基本権	○人間らしく生きるとはどのようなことなのか、またその重要性について理解することができる。 ○社会権が生まれた背景をふまえ、社会権で保障されている内容について理解することができる。	・授業の事前準備として、P.55「アクティビティ 人間らしく生きるために必要なものは？」に取り組み、「健康で文化的な最低限度の生活」に対する自分の考えやその理由をまとめる。 【0.2 時間】
23	56 57	6 人権の保障を実現するための権利 ・参政権 ・法による保護を求める権利（請求権）	○参政権や請求権の重要性について考えることができる。 ○参政権や請求権が、それぞれどのように人権を保障しているのかを理解することができる。	
24	58 59	7 社会の変化と人権保障 ・新しい人権とは ・知る権利 ・プライバシーの権利 ・自己決定権	○なぜ新しい人権の各権利が、それぞれ求められるようになったのかを理解することができる。 ○新しい人権が、それぞれどのようなものであるのかを理解することができる。	
-	60 61	【情報スキルアップ】 「ネット社会」とつき合う方法	○ネット社会の利便性と危険性について理解することができる。 ○ネット社会を生きるうえで必要な態度や知識を身につけている。	

25	62 63	8 広がる人権保障 ・環境権 ・人権保障の国際的広がり	○なぜ環境権が主張されるようになったのかを理解することができる。 ○人権保障の国際的な広がりはどのように展開されたのかを理解し、現在も存在する国際的な課題から、今後どのような人権保障が必要かを考えることができる。	
26	64 65	9 公共の福祉と国民の義務 ・人権と公共の福祉 ・国民の義務	○基本的人権と公共の福祉との関係について理解することができる。 ○日本国憲法の国民の義務について理解することができる。	
—	66 67	【明日に向かって】 15歳は「子ども」？それとも「大人」？	○18歳選挙権に向けて、主体的に社会や政治に参加する関心と意欲をもつことができる。 ○なぜ未成年の自由や権利が法律によって制限されているのかを考えることができる。	

第3節 日本の平和主義

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
27	68 69	1 日本国憲法の平和主義 ・前文と第9条 ・自衛隊と自衛権	○日本国憲法が示している平和主義を理解することができる。 ○日本の平和主義のあり方を、日本国憲法や社会情勢と照らし合わせて考えることができる。	
28	70 71	2 日米安全保障条約と日本の国際貢献 ・日米安全保障条約と集団的自衛権 ・自衛隊の国際貢献	○日米安全保障条約や沖縄の基地問題を通して、日本の平和と防衛の課題を理解することができる。 ○憲法の平和主義に基づいてこれからの日	・P. 71「公民+α 沖縄と基地問題」, 「日本が世界に提供できる価値 日本の平和主義」は、第4編第2節「3 日本の平和主義と国際貢献 (P. 190~191)」(74時間目)の資料として、まとめて学ぶことも考えられる。

			本の平和の課題を考 えることができる。	【0.5時間】
-	72 73	【チャレンジ公民】 表現の自由について考えよ うーブレインストーミン グ、論理的な考え方ー	○ブレインストーミン グやグルーピングの 手法を用いて、自ら 進んで議論に参加す ることができる。 ○表現の自由の問題に ついて、他者の意見 をふまえながら、論 理的に考え、対立か ら合意への解決へ導 くことができる。	

第2章 国民主権と日本の政治

配当16時間

うち第3学年の学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 0.5時間

第1節 民主政治と政治参加

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
29	76 77	1 民主政治のしくみ ・権力分立に基づく政治の しくみ ・主権者としての国民 ・国民が政治参加するしく み	○民主政治を行うう えで権力の分立と国民 主権が重要な役割を 果たしていることを 理解することができる。 ○現代社会では、多 くの国が間接民主制 (議会制民主主義) を採用している理由 を理解することがで きる。	
30	78 79	2 選挙の意義としくみ ・民主政治と選挙 ・選挙制度 ・選挙制度の問題点	○民主政治での選挙 の意義について考え 、日本の選挙制度を理 解することができる。	
31	80 81	3 国民と政治をつなぐ政 党 ・政党の役割 ・政党制 ・日本の政党	○民主政治における政 党の意義や役割、政 党政治のしくみを理 解することができる。 ○政党の政策を調べ比 較し、課題を読み取 ることができる。	

32	82 83	4 政治参加と世論 ・政治参加 ・世論とマスメディア ・政治とメディアリテラシー	○選挙など政治参加の意義を理解することができる。 ○世論のはたす役割を理解し、マスメディアの働きと課題について考え、メディアリテラシーが大切であることを理解することができる。	
—	84 85	【情報スキルアップ】 情報の読み方と伝え方を学ぼう！	○マスメディアなどによる情報の編集について理解し、情報が多面的・多角的な側面をもつことを考えることができる。	

第2節 暮らしを支える地方自治

累計時数	教科書ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
33	86 87	1 私たちの暮らしと地方自治 ・私たちの住む地域 ・暮らしと地方自治 ・地方分権	○私たちの暮らしが、地方自治と深く関わっていることを知り、地域や地方自治に対して関心をもつことができる。 ○地方自治が、民主政治の基礎であることを理解することができる。	・P. 87「アクティビティ 地域の名物を見つけよう！」の活動に取り組む。 【0.2時間】
34	88 89	2 地方公共団体の仕事としくみ ・地方公共団体の仕事 ・首長と地方議会の役割	○地方公共団体の仕事、住民の生活と深く関わっていることを理解することができる。 ○首長と地方議会の役割や関係から、地方自治のしくみを理解することができる。	
35	90 91	3 地方公共団体の財政と課題 ・地方公共団体の財政 ・地方財政の課題	○地方財政の課題について考察し、自分の言葉で説明したり、意見をまとめたりすることができる。	
36	92 93	4 地方自治と私たち ・住民の権利 ・住民参加と地域づくり ・NPO とボランティアの地	○地方自治を実現するために、住民には直接政治に参加する権利があることを理解	

		域における役割	<p>することができる。</p> <p>○住民の多様な要望に応えるためには、NPO やボランティアの活動が重要であることを理解することができる。</p>	
-	94 95	<p>【明日に向かって】 環境保全への取り組み －千葉県船橋市－</p>	<p>○身近な地域に関する環境改善などの身近なまちづくりの調査活動を通して、考えをまとめることができる。</p> <p>○地域の生活は政治と密接な関わりをもつことを理解し、社会参画への関心や意欲をもつことができる。</p>	

第3節 国の政治のしくみ

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
37	96 97	<p>1 国会の地位としくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国会の地位 ・二院制 ・衆議院の優越 	<p>○間接民主制の代表的な体制である議会制民主主義、及び国会のしくみを理解することができる。</p> <p>○衆議院の優越について考えることができる。</p>	
38	98 99	<p>2 国会の仕事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国会の仕事 ・国会の運営 	<p>○国会の仕事を理解することができる。</p> <p>○なぜ多くの時間をかけて立法するのかを考え、法律の制定過程を説明することができる。</p>	
39	100 101	<p>3 内閣のしくみと議院内閣制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内閣のしくみ ・議院内閣制 	<p>○行政の意義と内閣の仕組みを理解することができる。</p> <p>○議院内閣制について説明することができる。</p>	
40	102 103	<p>4 行政権をもつ内閣と国民の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内閣の仕事 ・国民の生活と行政権の拡大 	<p>○内閣の仕事を理解することができる。</p> <p>○国民の生活と関連して、行政改革の必要性を説明することができる。</p>	

		・公務員	できる。	
-	104 105	【公民ズームイン】 大災害に強いくらしをきずく ー東日本大震災における取り組みー	○災害や防災と減災を自らの問題として考えることができる。 ○災害に強いくらしを築くための自助・共助・公助の意義と内容を理解することができる。	
41	106 107	5 法を守る裁判所 ・法と裁判 ・司法権と裁判所 ・司法権の独立と公正な裁判 ・違憲審査制	○裁判の意義について考え、理解することができる。 ○司法権の独立や違憲審査制などを通して、裁判所が国民の自由や権利を守っていることを理解することができる。	
42	108 109	6 裁判のしくみと人権の尊重 ・民事裁判 ・刑事裁判 ・裁判と人権尊重	○民事裁判と刑事裁判の違いとそれぞれのしくみを理解することができる。 ○冤罪事件をふまえて、刑事裁判における被疑者や被告人の人権を守るための権利と、裁判の意義について理解することができる。	
43	110 111	7 私たちの司法と裁判員制度 ・私たちに身近な司法 ・裁判員制度	○司法制度改革と裁判員制度の意義としくみについて理解することができる。 ○国民と裁判の関わりのあり方を考え、司法への関心を高めることができる。	
-	112 113	【明日に向かって】 裁判員裁判シミュレーション	○裁判員制度のしくみについて具体的に理解し、参加する意欲をもつことができる。 ○具体的な事例をもとに、判決を考えることを通して、裁判の重要性と難しさを理解することができる。	

44	114 115	8 三権分立と政治参加 ・国民主権と三権分立 ・私たちが決める日本の政治	○互いに権力を抑制し合う三権分立の意義としくみを理解することができる。 ○私たちの行動が政治に影響を与えることを自覚し、主体的に政治に参加する意欲をもつことができる。	・P.115「公民+α 大きな政府と小さな政府」と「考えよう」に取り組み、政治に関心をもち、参加する意欲をもって、政治について自分の意見をまとめる。 【0.3時間】
-	116 117	【チャレンジ公民】 一票の格差の問題を考えよう — ディベート —	○選挙における一票の格差の問題を、国民主権と法の下での平等の問題として考え、選挙の重要性をより深く考えることができる。 ○論理的な思考と説得的な意見発表をすることができる。	

第3編 私たちの生活と経済

配当 22 時間 うち第 3 学年の学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 2.1 時間				
--	--	--	--	--

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
45	120 121	【導入】 経済ナビ	○ライフプランを作成することを通して、経済の学習を「希少性」「選択」の観点から大観し、学習に対する関心や意欲をもつことができる。 ○家計・企業・政府が、私たちの生活を支えていることが理解できる。	・P.120「ライフプランを考えよう」の図①、③を参考に、図②の表を埋めて自分のライフプランを作成する。 ・p.121「経済の学習って何をやるの？」を読み、経済の学習について見通しをもつ。 【1時間】

第1節 消費生活と経済のしくみ

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
46	122 123	1 私たちの消費生活 ・くらしと消費 ・消費を支える契約	○身近な消費生活を中心に、経済活動の意義を理解することができる。 ○経済活動を契約と捉え、自立した消費者となるための関心と意欲をもつことができる。	
47	124 125	2 消費者の権利と自立を守る政府のはたらき ・消費者主権と消費者問題 ・政府による消費者保護 ・情報化による消費者保護の新しい課題	○消費者の権利について、具体的な消費者問題とその対応策を通して考え、自分の考えを表現することができる。 ○消費者の権利と消費者行政の役割について理解することができる。	・P.125「アクティビティ 消費者主権を考えよう」に取り組み、図⑥のマークが何を意味するか調べ、自分のできる消費のしかたについて考える。 【0.2時間】
48	126 127	3 家計の収入と支出 ・家計の収入 ・家計の支出	○個人の消費生活に対して関心を持ち、意欲的に追究することができる。 ○市場経済においては、個人は価格を考慮しつつ何をどれだけ消費するか選択し	・P.127「公民+α お金を借りるといふこと」を読み、お金を借りたときの利息の計算をする。 【0.2時間】

			ていることを理解することができる。	
49	128 129	4 ものの流れとお金の流れ ・さまざまな小売店 ・流通のしくみ ・お金の流れ	○流通の役割について、生産者、販売者、消費者の立場から多面的・多角的に考察することができる。	・P.129「公民+α 流通業の情報化と『ビッグデータ』の活用」を読み、情報化が流通業に与えている影響について理解する。 【0.2時間】
50	130 131	5 市場のしくみと価格の決め方 ・価格と市場 ・価格の決め方	○市場経済における価格の決め方とそのはたらきを理解することができる。	

第2節 生産の場としての企業

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動
51	132 133	1 生産活動とそのしくみ ・分業がすすんだ生産活動 ・生産に必要なもの ・知的資源と技術革新	○様々な生産活動について、具体的な例を通して考えることができる。 ○自然・資本財・労働力に加え、生産活動を効率的に行う上で重要になっている知的資源について、具体的な例を通して考えることができる。	・P.133「確認」の問いに取り組み、生産活動が分業して行われていることを確認する。 【0.1時間】
52	134 135	2 企業のしくみ ・企業とは ・株式会社のしくみ ・企業の社会的責任	○企業の種類や役割、株式会社のしくみについて理解することができる。 ○企業の社会的責任について身近な例を挙げて考察し、説明することができる。	
53	136 137	3 企業の競争と独占の問題 ・企業の競争 ・生産の集中の問題 ・公共料金	○資本主義経済の特徴と、市場ではたらく競争のよい点について理解することができる。 ○生産の集中の問題を、企業や消費者の立場から効率・公正の視点を活用して考え、表現することができる。	
54	138 139	4 グローバル化する経済と現代の企業	○資料から企業活動の変化を読み取り、表	・P.139「活用」の問いに取り組み、自由貿易に関する2つの立場のど

		<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化による企業の競争 ・日本企業の海外進出 ・自由貿易のルールをつくる国際機関 	<p>現することができる。</p> <p>○グローバル化における企業活動の変化によって生じる課題とその対応について理解することができる。</p>	<p>ちらかにつき、自分と異なる立場を説得するためにはどのようなセリフが考えられるか考える。</p> <p>【0.2時間】</p>
ー	140 141	<p>【公民ズームイン】 日本経済を支える中小企業</p>	<p>○中小企業のまち、東大阪市などを例に、中小企業の努力や工夫、その役割などについて理解することができる。</p> <p>○身近な中小企業について調べ、中小企業と日本経済のこれからに関心をもつことができる。</p>	
55	142 143	<p>5 働く意味と労働者を支えるしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ働くのか ・労働者と企業の関係 ・労働組合 	<p>○労働の意味についての考えを広げて、関心と意欲をもつことができる。</p> <p>○労働基準法のねらいや労働組合の役割を理解することができる。</p>	
56	144 145	<p>6 現代の雇用① ー変化する雇用のかたちー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変化する日本の雇用 ・非正規雇用の増加 	<p>○現代における雇用の特徴と変化について理解することができる。</p> <p>○わが国の労働者を取りまく問題を考えることができる。</p>	
57	146 147	<p>7 現代の雇用② ー女性の問題とセーフティネットー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性と労働 ・生活を守るために 	<p>○将来、どのような職場と条件で働きたいか考えることができる。</p> <p>○女性や若年層など、多くの人が安心して働くことができる社会への課題を考えることができる。</p>	<p>・P.147 「公民+α ワーキングプアってなに？」を読み、社会全体でセーフティネットのしくみを整えていく必要性について理解する。</p> <p>【0.2時間】</p>
ー	148 149	<p>【明日に向かって】 15歳のハローワーク</p>	<p>○将来、どのような仕事に就きたいか、そのためにはどのような知識が必要なのかを具体的に考えることができる。</p>	

第3節 金融のしくみとお金の価値

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
58	150 151	1 金融のしくみ ・お金とはなんだろう ・金融とは ・銀行のはたらき	○身近な事例をもとに 金融機関の役割につ いて考えることがで きる。 ○銀行の役割と間接金 融と直接金融につい て理解することがで きる。	
59	152 153	2 日本銀行と金融政策 ・日本銀行のはたらき ・金融政策 ・預金通貨の創造	○日本銀行の三つの役 割について考えるこ とができる。 ○日本銀行の金融政策 が経済に及ぼす影響 を理解することがで きる。	
60	154 155	3 金融のグローバル化と 為替相場 ・国際取引と外国為替 ・円高と円安 ・為替相場の変化の影響	○為替相場のしくみ と、為替相場が変動 することを理解する ことができる。 ○為替相場の変動が、 企業や私たちの生活 に及ぼす影響と問題 点について考えるこ とができる。	
—	156 157	【明日に向かって】 金融スキルアップ —自分と社会へのお金の生 かし方—	○リスクとリターンの 異なる様々な金融商 品があることを理解 し、賢い消費者とし て判断し選択するた めに必要なことを考 えることができる。	

第4節 財政と国民の福祉

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
61	158 159	1 財政のはたらき ・政府の仕事 ・財政の収支と支出	○国民生活を支えるた めに、国や地方公共 団体が行う経済活動 である財政の役割に ついて理解すること ができる。	
62	160 161	2 国の収入を支える税と 国債 ・公正な税とは	○税と国債の意義を理 解し、公平な税負担 と国債のあり方につ	

		・国債の発行と負担	いて考えることができる。	
63	162 163	3 景気の動きとその対策 ・なぜ景気は変動するのだろうか ・政府による景気の安定化 ・景気と格差	○市場経済では景気の変動が避けられないことを理解し、景気を安定させる政策について考えることができる。	
64	164 165	4 社会保障のしくみと財源 ・生存権と社会保障 ・社会保障制度	○生存権を実現するために社会保障制度があることと、日本の社会保障制度のしくみを理解することができる。	
65	166 167	5 少子高齢社会における福祉の充実 ・高齢社会を支えるもの ・福祉の充実をめざして	○急速にすすむ少子高齢化の現状を理解し、今後の課題について考えることができる。	
-	168 169	【明日に向かって】 年金シミュレーション －たつやさんの場合－	○年金の世代間扶養方式の仕組みを理解し、今後の年金制度について考えることができる。	
66	170 171	6 環境保全の担い手としての政府 ・公害の問題と改善 ・広がる環境問題 ・企業の社会的責任と国際協調	○国民の生活に直結している環境保全における政府のあり方について理解することができる。	
-	172 173	【チャレンジ公民】 これからの消費税を考えよう －議論－	○消費税をめぐる議論を中心に、日本の税金に関する課題を理解して、財政と政府のあり方について考え、まとめることができる。	

第4編 私たちと国際社会

配当 13 時間

うち第3学年の学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 2.7 時間

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
67	176 177	【導入】 国際ナビ	<p>○身近な事例から自分と国際社会とのつながりに気づき、関係する国や地域の人々の「人権」に焦点をあてて考えることを通して、国際の学習に対する意欲を高めることができる。</p> <p>○国際関係の対立の解消のために、各国の主権を尊重しつつ、合意を目指していることを、具体的な事例について考えることができる。</p>	<p>・ P.176 「まんがから国際社会を考えよう」の漫画を読み、A 国と B 国の主張を書き出し、A 国での人権問題を正すためにどのようにしたらよいか考える。</p> <p>・ P.177 「国際の学習って何をするの？」の文章を読み、国際単元の学習の見通しをもつ。</p> <p>【1 時間】</p>

第1節 国家と国際社会

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
68	178 179	1 国際社会と主権国家、 日本の領土 ・ 国際関係の成り立ち ・ 国家と主権 ・ 日本の領土をめぐる問題	<p>○国際法の下で形成されている国際社会の中で、国家が互いに尊重し合うために必要なことは何かを考えることができる。</p> <p>○日本の領域を法的根拠とともに知り、これに対する外国の主張の存在を理解することができる。</p>	
69	180 181	2 国際連合の目的とはたらき ・ 国際連合の成立 ・ 国際連合の目的とはたらき	<p>○国連の目的や組織について理解し、日本が今後国連のなかでどのような役割を担っていくべきか考えることができる。</p>	<p>・ P.181 「活用」の問いに取り組み、日本が常任理事国になるべきかどうかを考える。</p> <p>【0.2 時間】</p>
70	182 183	3 一体化する世界と地域 統合 ・ 一体化する世界 ・ 地域統合と地域協力の動き ・ EU の統合	<p>○グローバル化の進展とその影響について理解することができる</p> <p>○EU を例に、地域統合の必要性や有効性を</p>	<p>・ 授業の事前準備として、P.8～9 「3 グローバル化する世界で生きる私たち」の内容や地理的分野での学習内容について振り返り、グローバル化の進展とその影響、地域統合の必要性や有効性について</p>

			理解するとともに、その問題点を捉え、よりよい地域統合のあり方について考えることができる。	整理しておく。 【0.8時間】
71	184 185	4 現代世界の政治と文化・宗教 ・文化・宗教と政治を考えるために ・現代世界への文化・宗教の影響 ・文化と宗教の多様性への寛容	○国際社会における政治と宗教の関わりを理解することができる。 ○文化や宗教の多様性がもたらす恩恵に気づくとともに、異文化・異教徒に対する寛容性の大切さを理解することができる。	

第2節 国際社会の課題と私たちの取り組み

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
72	186 187	1 現代世界の戦争と平和 ・冷戦下の世界 ・地域紛争と新しい戦争 ・東アジアの変化と課題	○冷戦後の世界では民族紛争やテロなど、新たな紛争が多発していることを知り、その要因を吟味することができる。 ○冷戦後のアジアの変化と未解決の拉致問題に向けた我が国の取り組みについて理解することができる。	
73	188 189	2 世界の軍縮と日本 ・軍縮への動きと課題 ・軍縮に対する日本の責任	○世界平和の基盤を築くために、日本が果たすべき責任について考えるための熱意と協力の態度を育てることができる。 ○21世紀に入り、核管理体制がゆらいでいることを理解し、新たな核拡散の危険性への見方や考え方につなげていくことができる。	
74	190 191	3 日本の平和主義と国際貢献 ・日本の平和主義と経済援助	○日本の国際貢献における今後の課題についての考えを表現しながら吟味すること	

		<ul style="list-style-type: none"> 世界の紛争と日本の役割 	<p>ができる。</p> <p>○平和主義の立場をとる日本のODAやPKOが、世界の平和を支えていることへの見方や考え方につなげていくことができる。</p>	
75	192 193	<p>4 現代の貧困と多様化する世界</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界人口の増大 南北問題 南南問題 	<p>○南北問題や南南問題の原因や解決策について根拠に基づいて効果的に表現することができる。</p> <p>○世界の人口増加の現状を理解し、その問題点に気づくことができる。</p>	
76	194 195	<p>5 資源・エネルギー問題</p> <ul style="list-style-type: none"> 増え続ける世界の資源・エネルギー消費 日本のエネルギー問題 新しいエネルギーの開発に向けて 	<p>○世界と日本の資源・エネルギーの問題について根拠に基づいて、効果的に表現することができる。</p> <p>○世界の資源・エネルギー問題について理解し、エネルギー対策への見方や考え方につなげていくことができる。</p>	
77	196 197	<p>6 地球規模の環境問題</p> <ul style="list-style-type: none"> さまざまな環境問題 地球温暖化とその影響 	<p>○地球規模の環境問題への関心を高め、自分ができることについて考えることができる。</p> <p>○地球規模の環境問題の原因と影響について理解することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> P. 197「アクティビティ 地球環境のためにできること」に取り組み、地球環境問題に対して私たちができないかを考える。 <p>【0.2時間】</p>
78	198 199	<p>7 持続可能な社会をめざして</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際的な協力を実現するために 持続可能な社会への取り組み 	<p>○持続可能な社会をつくるための取り組みを考えることができる。</p> <p>○地球環境を守り、持続可能な社会を目指した国際的な協力や国内での取り組みを理解することができる。</p>	
79	200 201	<p>8 未来の地球をともに考える</p>	<p>○国家や文化の違いを越えた国際協力につ</p>	<ul style="list-style-type: none"> P. 201「公民+α 日本の防災協力」, 「日本が世界に提供できる

		・人間の安全保障と人類の共生	いて考えることができる。 ○人間の安全保障の考え方を理解し、経済面だけでなく、人間を尊重するための国際協力の大切さを理解することができる。	価値 人間の安全保障―人類の普遍的な価値―」を読み、日本の国際協力のあり方やその大切さについて考える。 【0.5時間】
-	202 203	【チャレンジ公民】 地球温暖化に対する政策を考えよう ―ロールプレイ―	○地球温暖化に対する外交政策案について、日本のとるべき政策を考えることができる。 ○たがいの考えを受け入れ、意見をまとめることができる。	

第5編 私たちの課題 ―持続可能な社会をめざして―

配当 11 時間（「公民を学んで」を含む） うち第 3 学年の学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動 9 時間

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
80	206 く 211	1 課題の設定① レポート課題例 1. 変わる国連のはたらき 2. 日本のエネルギー問題 3. 世界の貧困問題の解決 4. 若者と高齢者の関係 5. 災害にそなえるには	○より良い社会を築いていくための課題探究を通して社会参画をしていくことに、関心をもつことができる。 ○持続可能な社会の形成という観点の意味と、その基礎となっている公正で平和な社会という社会的な価値の意味を理解することができる。	・レポート課題例 1～5（P.207～211）を参考にしながら、持続可能な社会の形成のためにどのような課題を解決したいかを考える。 【1時間】 （第5編の学習を学校の授業以外の場において行う場合は、生徒からの相談や進捗状況を把握する機会を設けるなど、生徒の学習状況を適宜把握し、適切に指導する。）
81	206 く 211	1 課題の設定②（探究計画の作成） レポート課題例 1. 変わる国連のはたらき 2. 日本のエネルギー問題 3. 世界の貧困問題の解決 4. 若者と高齢者の関係 5. 災害にそなえるには	○より良い社会を築いていくための課題探究を通して社会参画をしていくことに、関心をもつことができる。 ○持続可能な社会の基礎となっている環境の保全と回復、貧困の削減、世代間の公平などの社会的な価	・レポート課題例 1～5（P.207～211）を参考にしながら、持続可能な社会の形成のためにどのような課題を解決したいかを考える。 【1時間】

			値の意味を理解することができる。	
82 83	212	2 資料の収集と読み取り	<p>○課題探究のために必要な資料を適切に収集することができる。</p> <p>○情報の集め方に関する知識や、情報の読み取り方、特に、情報源である様々なメディアの特色に関する知識を活用しながら適切に情報を集め、読み取ることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題研究のために必要な資料を収集する。 ・集めた資料が信頼のおける情報かどうかを吟味し、資料から読み取れたことを整理する。 <p>【2時間】</p>
84 85	213	3 考察	<p>○収集した資料から読み取った事実を解釈して導き出した結論について他の生徒と意見交換を行い、他の生徒の意見をふまえて自分の結論を見直し、よりよい社会を築くための提案を考察することができる。</p> <p>○他の生徒と意見交換を行い自分の意見を見直し修正するために、話し合いの進め方に関する知識や技能を活用できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・集めた資料から読み取った事実を解釈し、課題を解決する具体的な方法を考え、提案する。 ・自分の提案を効率と公正の観点から見て問題がないかどうか吟味する。 <p>【2時間】</p>
86 87	214 215	4 まとめ方	<p>○対立と合意、効率と公正などの見方や考え方をふまえて、探究した課題に対する実現可能な解決策を考えることができる。</p> <p>○適切な項目を設けて、科学的な探究の過程や思考の過程が分かるようにレポートをまとめることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・P. 214～215 のレポート例の構成を参考にしながら、考察した内容やその過程をレポートとしてまとめる。 <p>【2時間】</p>
88 89	216	5 プレゼンテーションソフトを使った発表	○報告会で、適切に相手に伝えるとともに、他の生徒の発表も真剣に聞いて理解	

			<p>をただただではなく、その内容に意見を言うことができる。</p> <p>○自分の発表に対する他の生徒の意見や、他の生徒の報告の長所を積極的に取り入れて、必要な情報を補足しながら考察を一層深め、より多くの人に納得してもらえる説得力と実現可能性のある提案ができる。</p>	
--	--	--	--	--

累計 時数	教科書 ページ	学習内容	学習のねらい	学校の授業以外の場において行う ことが考えられる教材・学習活動
90	217	公民を学んで	○国民主権を担う公民として、必要な基礎的教養を身に付けたかを確認できる。	・P.217 の文章を読み、国民主権を担う公民として、必要な基礎的教養を身に付けたかを確認する。 【1時間】